

企画展

科博 NEWS 展示「東日本大震災被災標本のレスキュー活動：
第1部 海藻標本のレスキュー活動」

2011年6月28日(火)～12月27日(火)

国立科学博物館(東京・上野公園)地球館1階南側スペース

東日本大震災で被災した博物館のさまざまな分野のレスキュー活動が各地で行われています。本展示では、国立科学博物館が関わっている現地での標本の救出・修復作業の詳細について、実物の標本を展示しながら紹介します。その第1部として、海藻標本の救出が行われた山田町立鯨と海の科学館および陸前高田市立博物館について、その被災状況と海藻標本救出の様子を解説します。(北山太樹)



海藻標本庫の瓦礫からの標本レスキュー(山田町)

【国立科学博物館(本館)】

開館時間:午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)。
休館日:毎週月曜日(日・月が祝日の場合は火曜日)。

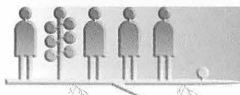
入館料:一般・大学生600円,小学生・中学生・高校生・満65歳以上・障害者とその介護者 無料(20名以上の団体入館者は300円で,20名につき引率者1名が無料)。

所在地:東京都台東区上野公園7-20。

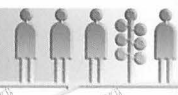
交通:JR上野公園口から徒歩5分もしくは東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅から徒歩10分。

連絡先:Tel 03-3822-0111(平日), 03-3822-0114(土日)。

Web site: <http://www.kahaku.go.jp/>



会員のページ



★標本のご寄贈に感謝(科博, TNS)

2011年1月に、山岸高旺博士から標本および図書と文献別刷りを国立科学博物館・植物研究部にご寄贈いただきました(写真参照)。標本は、博士自ら国内外の淡水域から採集されたものが大半ですが、それらのほかに斎藤英三、平野實、



寄贈された標本

大野正男博士らの採集標本も含まれています。図書や文献別刷りの中には、現在ではなかなか入手し難い貴重なものがあります。また、Dr. Croasdaleが所蔵されていたツツミモ関連の文献もそろっています。

植物研究部には既に、奥野春雄、平野實、渡辺仁治、福島博博士らの標本・資料類も保管されています。3月に発生した東北地方太平洋沖地震により植物研究部も被災しましたが、幸い、上記を含む微細藻類の標本類および図書に被害はありませんでした。

国立科学博物館「微細藻類標本庫」のウェブページもあわせてご参照ください。

<http://research.kahaku.go.jp/botany/herbarium/herbarium.html>

(国立科学博物館・植物研究部 新山優子・辻 彰洋)

★海藻観察会とフランスからの取材

鹿児島大学水産学部では、地域の皆さんに藻場や沿岸生態系の重要性を知ってもらうために、さまざまな活動をおこなっています。今年も鹿児島市の環境教育施設である「かごしま環境未来館」の学習講座として、海藻観察会と押し